ID No.	2027
研究課題名	筋肉減少症予防・治療法開発を目指した核内受容体機能の解析
研究代表者	今井 祐記 (愛媛大学・教授)
研究組織	
受入教員	田中 廣壽 (東京大学医科学研究所・教授)
研究分担者	榊原 伊織 (愛媛大学・助教)
	清水 宣明 (東京大学医科学研究所・特任講師)
<p>研究報告</p> <p>GR^{flox/flox}マウスを対照群とし、筋線維特異的GR遺伝子欠損マウス (GRmKO) マウスとともに、DHTペレット (4週間) の投与群/非投与群の4群で比較した。その結果、GRmKOにおいて増加する骨格筋量が、DHT投与によりさらに増加することが明らかとなった。そこで、上記4群 (n=3/群) から採取した前脛骨筋から抽出したRNAを用いて、RNA-seqを実施した。その結果、GR及びDHT依存的に発現変動を示す遺伝子を多数認め、これらに対してGO解析を実施した。</p> <p>今後は、これらの遺伝子の解析、GR&ARの筋線維特異的ダブルノックアウトマウスの作出及び解析を実施する予定である。</p>	